

令和2年5月22日
相模原市発表資料

相模原駅北口地区のまちづくりコンセプトの策定について

相模原駅北口地区のまちづくりにつきましては、社会情勢の変化等を踏まえ、同地区に求められる役割や将来像について市民の皆様の御意見を伺いながら改めて検討しているところですが、この度、まちづくりコンセプトについて、次のとおり策定しましたのでお知らせします。

本コンセプトにつきましては、市民アンケートや有識者へのヒアリング調査等を行い、相模原駅北口地区が持つ強みや課題、市民の皆様の御意見等を踏まえた上で策定しています。詳細につきましては、別紙をご覧ください。

【コンセプト】

多様な交流が新たな価値をうみだす
ライフ×イノベーション シティ

今後につきましては、本コンセプトをもとに市民が参加する会議等により、市民の皆様の御意見を伺いながら導入する機能をまとめ、土地利用方針を策定する予定です。

問合せ先
相模原駅周辺まちづくり課
電話 042-707-7026

相模原駅北口地区のまちづくりコンセプト

相模原駅北口地区のまちづくりコンセプト

多様な交流が新たな価値をうみだす

ライフ×イノベーションシティ

ライフとは

市民の安全・安心、健康、暮らし、利便性や娯楽等、生活に直接関係する分野の充実を表す。

イノベーションとは

ロボット、宇宙、エネルギーなどの先端のテクノロジーの分野を表す。多様な人々が集まることで、イノベーション創出の拠点を形成するとともに、その技術を生かし、教育、介護、福祉、医療など市民生活の質の向上につなげられる環境や将来の補給廠全面返還時における展開を期待する意味を表す。

これらを包含したまちをイメージしたものです。

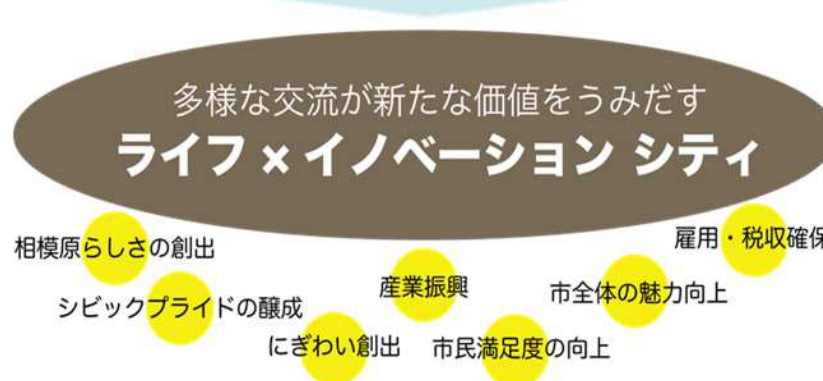
重点テーマ（考えられるまちづくりの方向性）

ロボット・宇宙開発等先端技術産業の集積、工業系大学等との連携【未来・創造（イノベーション）分野】

広域から人を呼び込み、にぎわいを創出

【交流・にぎわい分野】

暮らしの充実、安全・安心【活力・笑顔（ライフ）分野】



相模原駅北口地区のまちづくりに向けた市民アンケート調査 結果概要

1. 調査目的

本調査は、市民が考えるまちの魅力や相模原市及び相模原駅周辺の現状評価、課題等を把握することで、相模総合補給廠一部返還地（15ha）のまちづくりコンセプトを検討する基礎資料とすることを目的に実施した。

2. 調査設計

調査目的を達成するため、今回は、市民アンケート調査を柱とし、4つのアンケート調査を実施した。高校生WEBアンケート調査は次世代を担うとともに、JR相模原駅に近く、駅周辺を利用されることが多いと考えられる神奈川県立相模原高等学校の生徒の皆様等を対象に市民アンケート調査と同じ設問で実施した。

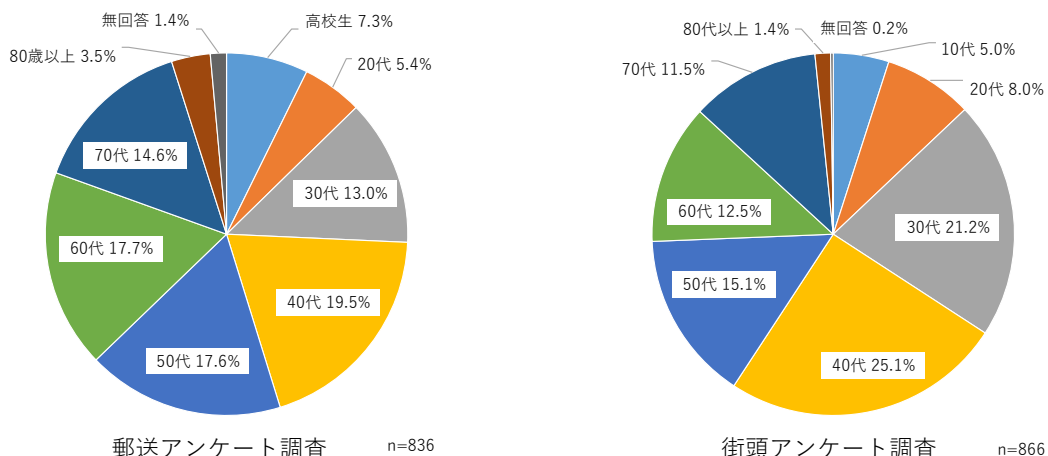
また、駅前利用者街頭アンケート調査及びさがみはらフェスタ街頭アンケート調査は、市民アンケート調査を補完する目的で、相模原駅周辺の現状を把握することを主目的として実施した。

なお、今回の報告書で表示する「郵送アンケート調査」とは、市民アンケート調査と高校生WEBアンケート調査を合算集計したものの、「街頭アンケート調査」とは、駅前利用者街頭アンケート調査とさがみはらフェスタ街頭アンケート調査を合算集計したものである。

図表1 アンケート調査の概要

調査名		調査概要
郵送アンケート調査 合計836名	市民アンケート調査	実施日：令和元年9月2日（月）～13日（金） 対象者：20歳以上の市民2,000名（無作為抽出） 調査手法：郵送発送、郵送回収 回答者数：675名
	高校生WEBアンケート調査	実施日：令和元年10月24日（木）～11月1日（金） 対象者：神奈川県立相模原高等学校の生徒及び教職員等 調査手法：インターネット調査 回答者数：161名
街頭アンケート調査 合計866名	駅前利用者 街頭アンケート調査	実施日：令和元年8月17日（土）、21日（水） 対象者：JR相模原駅前利用者 311名
	さがみはらフェスタ 街頭アンケート調査	実施日：令和元年11月16日（土）、17日（日） 対象者：さがみはらフェスタ2019来場者 555名

図表2 各調査における回答者の年代



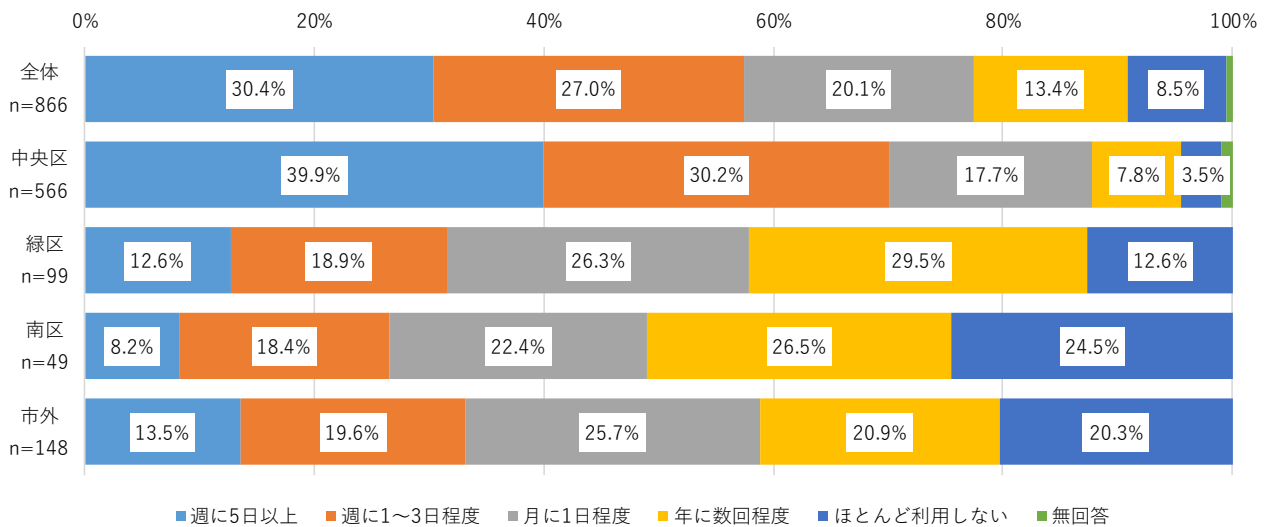
3. 街頭アンケート調査結果（駅前利用者街頭アンケート調査、さがみはらフェスタ街頭アンケート調査）

○相模原駅周辺の利用頻度

相模原駅周辺の利用頻度は、「週に5日以上」が30.4%と最も高く、次いで「週に1～3日程度」が27.0%、「月に1日程度」20.1%となっており、日常的に利用している人（週に5日以上と週に1～3日程度の合計）が約6割となっている。

利用頻度を居住地区別に見ると、「中央区」は、約7割の人が日常的に利用しているが、その他の地区は概ね3割となっており、「南区」の人は、約半数が年に数回程度以下となっている。

図表3 相模原駅周辺の利用頻度（居住区別）



○相模原駅周辺の現状評価

相模原駅周辺の現状を5段階で評価してもらったところ、「住んでみたい（住み続けたい）まちだと思う」という項目が3.59点と最も高く、生活利便性に関する項目は、概ね高い評価であった。

一方、「広域から人が訪れる魅力をもったまちだと思う」は2.62点と中間点（3点）を下回るなど、訪れるまちとしての魅力は総じて低い。

図表4 相模原駅周辺の現状評価

項目	評価				
	1点 低	2点	3点 (中間点)	4点	5点 高
(1)買物に満足できるまちであると思う	2.92				
(2)ぶらぶら歩いて楽しいまちであると思う	2.78				
(3)広域から人が訪れる魅力をもったまちだと思う	2.62				
(4)飲食店や娯楽施設が充実しているまちだと思う	2.96				
(5)銀行や官公庁など生活に便利な施設が充実しているまちだと思う	3.48				
(6)病院や診療所など医療機関が充実しているまちだと思う	3.50				
(7)人が集まり、交流できる場があるまちだと思う	2.99				
(8)イベントや催事などが盛んに行われているまちだと思う	3.27				
(9)住んでみたい（住み続けたい）まちだと思う	3.59				
(10)相模原市駅周辺は「相模原市」の顔だと思う	3.06				

※アンケートは「そう思う」～「どちらともいえない」～「そう思わない」の5段階で回答。「そう思う」を5点、「そう思わない」を1点とし、各項目の平均点を算出。3点が中間点。

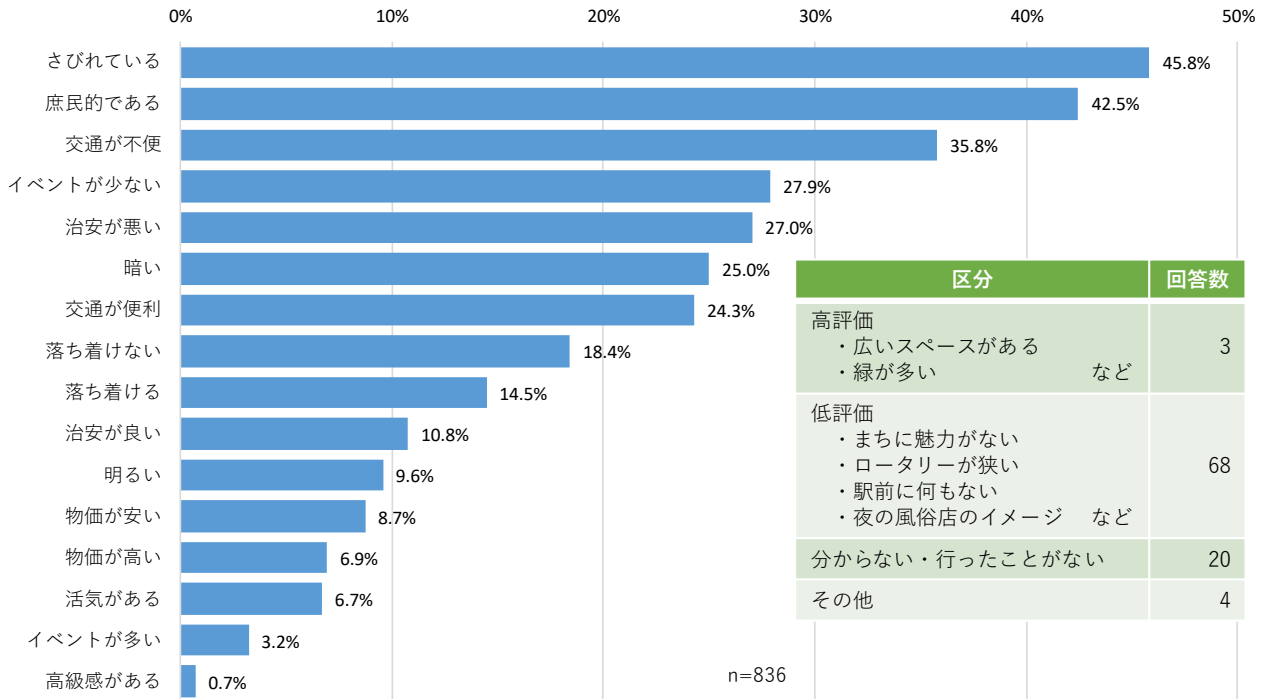
4. 郵送アンケート調査結果（市民アンケート調査、高校生WEBアンケート調査）

○相模原駅周辺のイメージ

相模原駅周辺の現状のイメージは、「さびれている」が45.8%と最も高く、次いで「庶民的である」が42.5%、「交通が不便」が35.8%と続いており、上位6項目はネガティブなイメージが並ぶ。

自由回答においても、「まちに魅力がない」や「夜の風俗店のイメージ」など低評価な意見が多い。

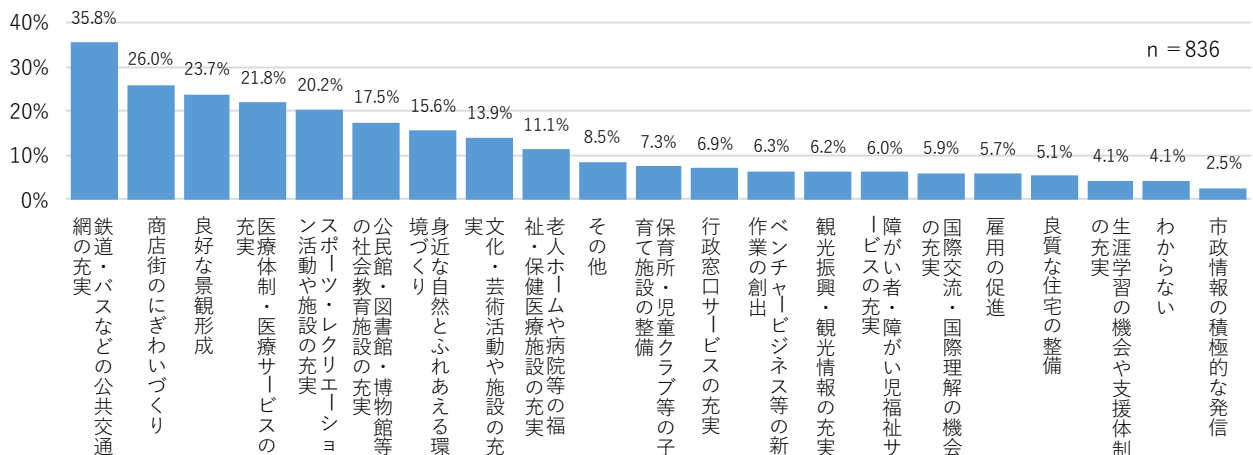
図表5 相模原駅周辺のイメージ（複数回答）



○相模原駅北口のまちづくりで力を入れて欲しいこと

相模原駅北口のまちづくりで力を入れて欲しいことは、「鉄道・バスなどの公共交通網の充実」が35.8%と最も高く、次いで「商店街のにぎわいづくり」が26.0%、「良好な景観形成」23.7%となっている。

図表6 相模原駅北口のまちづくりで力を入れて欲しいこと（複数回答）

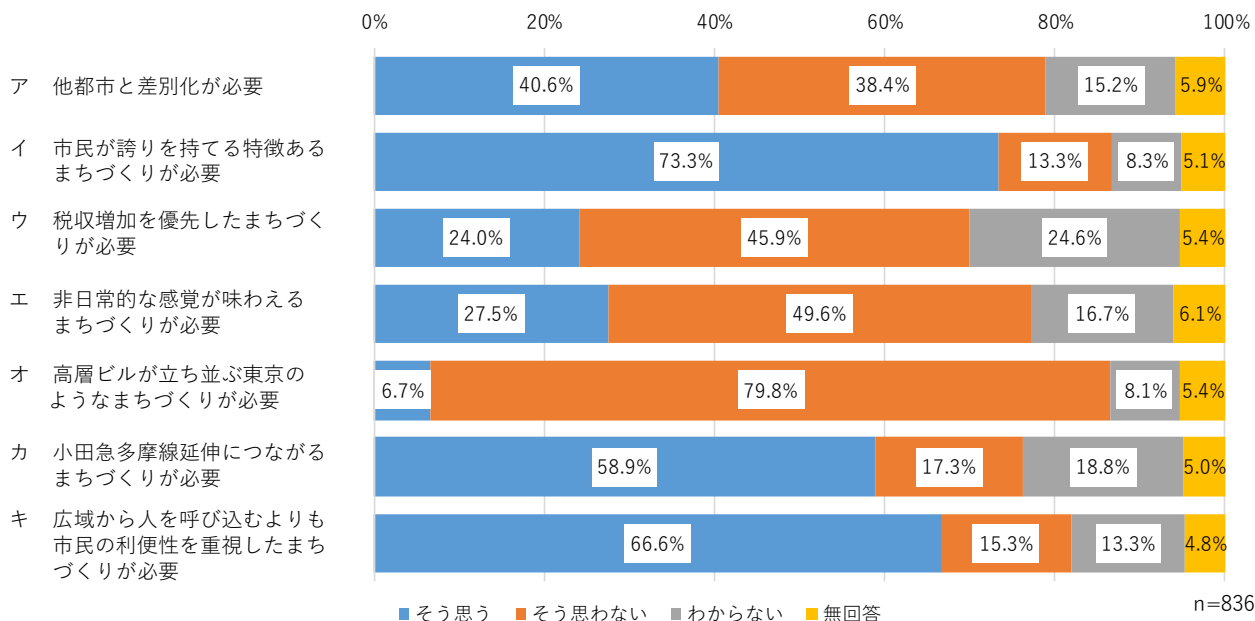


○相模原駅北口のまちづくりの考え方

相模原駅北口のまちづくりの考え方については、「市民が誇りを持てる特徴あるまちづくり」、「小田急多摩線延伸につながるまちづくり」などが必要であるとの意見が多い一方で、「広域から人を呼び込むよりも市民の利便性を重視したまちづくり」を望む意見も多い。

また、「高層ビルが立ち並ぶ東京のようなまちづくり」を望む意見は少ない。

図表7 相模原駅北口のまちづくりの考え方



○自由回答

アンケート調査において、422名の方から自由意見をいただいた。

カテゴリー別に見ると、「交通」に関する意見が最も多く、次いで「商業（買物・食事）」、「スポーツ・レクリエーション」となっている。

図表8 カテゴリー別自由回答数

カテゴリー	回答数	カテゴリー	回答数	カテゴリー	回答数
交通	77	環境・景観	34	安全・安心	13
商業（買物・食事）	58	公共施設	26	ビジネス	12
スポーツ・レクリエーション	56	文化・アート	20	居住	4
にぎわい・利便性	47	医療・福祉	17	その他	151
治安	40	子育て	15		

※各回答の内容を踏まえてカテゴリーを分類。1つの回答で複数のカテゴリーに分類されるものもあるため、回答数の合計と回答者数（422名）は一致しない。

図表9 カテゴリー別の自由回答（抜粋）

【交通】

- バスの本数が少なく、終バスも早く終わってしまうため、不便なので交通を便利にしてほしいです。よろしくをお願いします。（中央区在住 20代 女性）
- 子どもが安心して暮せるまちづくりを期待します。上溝までの延伸が実現しないと、相模線沿線住民としては、正直、相模原駅には行かないかも。行くなら車。車のアクセスが悪いなら行かない。（南区在住 30代 男性）
- 相模原駅が最寄りとされる市役所や税務署も、歩くとかなり距離があり不便で、とにかく不便というイメージが強い。徒歩圏でもう少し便利な施設やショッピングセンターを増やしてほしい。歩いて行けない場所は無料の巡回バスや無料レンタサイクル（サイクルポート）など気軽に使えるものを導入して欲しい。（南区在住 30代 女性）

【商業（買物・食事）】

- 商店街が衰退している。駅から離れた複合商業施設に行かないと身の回り一式揃えようと思っても揃わない時がある。希望としては北口にアーケードを設け、雨の日でも気軽に買物が出来る様な地元密着の商店が出来ると良いと思います。あとは横浜線の地下化で南北の往来（車・人）の気軽さ、子供も自由に遊べる場所、すべての世代の方々が安心して不自由なく過ごせる環境（子育て～医療まで）が実現して欲しいと思います。難題かとは思いますが、ぜひ進めていただけたらなと思います。（中央区在住 40代 男性）
- 現在の相模原駅周辺は商業施設が充実していないので、にぎわいがなく、楽しくないです。まず、商業施設を充実させ、日々の買物がしやすい街を希望します。年寄りでも楽しめる街づくりに期待します。（中央区在住 60代 女性）
- 市内や市内周辺にない商業施設など（IKEA など）があると遠方でも足を運ぶと思う。テーマパークなどもあると良いと思う。（南区在住 40代 女性）

【スポーツ・レクリエーション】

- 麻溝公園競技場（ギオンスタジアム）にあるような、市民が安心してランニングができるコース設置を希望します。健康づくりに大切なことと感じます。また、大規模なマラソン大会の開催を通じて県外、市内から人を呼べるイベント、相模原の名物になればお金を落としてもらえます。（中央区在住 40代 男性）
- JR 横浜線の料金が高く、特急がなかったり、快速が走っている時間帯が短いなどで、横浜方面に行くことが少し不便に感じる。大型商業施設やオフィスは、電車1本で行くことができる新宿や横浜の規模にはたうちできないので、既にあるスポーツ関連のスタジアムを生かしたまちづくりや、大学・研究機関等の集積という方向性に魅力を感じる。（緑区在住 40代 女性）
- サッカー、ラグビー、アメフトの大会ができ、近隣からの集客もできる専用スタジアムをつくり、商業施設も併設することで活性化させてほしい、相模原にサッカーの J1 リーグのチーム拠点を置いて、横浜、川崎などに並ぶような地域の拠点にしてほしい（南区在住 40代 男性）

【にぎわい・利便性】

- 私は相模原駅周辺をたまに訪れますが、徒歩5分圏内に人が集まるような施設が乏しいと感じます。私が毎日相模原駅に通っていた10年前と比較しても大きく変わったことは何もないですし、車ありきの生活になってしまっているように思います。なので、今回のアンケートの主題と言える「相模原駅周辺」徒歩5分圏内に人が集まる商業施設やスポーツ施設、生活の基盤となる役所など、駅周辺に行政、経済の中心となる施設を集中させることを望みます。これを実現させることで、市民の生活の利便性と外から見ても充実した訪れたい街になるのではないかと考えます。（緑区在住 20代 男性）
- 先日、観光を兼ね、飛騨高山の商店街に行ってきた。歴史・文化・伝統などの地域特性を活かし、地域住民・観光客に喜ばれ、親しまれる魅力的な活気あるまちづくりを行っていたが、相模原市では難しいと感じられる。やはり多くの人々が集まり、にぎわいのあるまちづくりを行うには、大規模な商業施設を作ることが良いと思う。（南区在住 60代 男性）

【治安】

- 風俗街があるため、治安が悪いように感じる。これから子供を育てる世代にとってはマイナスイメージである。（中央区在住 20代 男性）
- 相模原駅周辺は特に治安が悪いイメージがあります。仮に米軍基地の一部が返還され、様々なまちづくりをしても「治安の悪い」というイメージだけはすぐに払拭できるものではありませんが「大規模な」まちづくりが行われたら話は別かと思えます。「相模原市は治安が悪い」「え?! 相模原市ってこわくない?」と聞かれることも多いです。公園や緑も多く、イベントも活発に行われているのもったいないなと感じることが多いです。（南区在住 40代 女性）

【子育て】

- 主人と2人で昔から遊びに行っていたし、今も2人でなら行く事がある。ただ、子供が生まれて子供連れで行けるような所が少ない。遊べる所、ショッピング出来る所、飲食にしても、子供中心で考えると行ける所が少ない。また、イベントを増やしてほしい。その情報もチラシなどで広範囲に教えてほしい。(緑区在住 30代 女性)
- 子供が居る身として、子供達のがびのびとたくさん体を動かせる広い公園が少ない気がする(遊具も一般的なものしかない)。これからマンションなども多く建つと思うので、子育てしやすい保育施設はもちろん、子供が元気に遊べる広い公園やめずらしい遊具(子供がそられるような、他に無いような遊具)を置いたりすると人も入ってくるだろうし、子供にとっても楽しい町になると思う。保育施設も園庭がある所が少ないから、公園まで散歩しながら行くので、公園が小さい遊園地みたいだと楽しいと思う。公園=子供だけではなく、親同士が交流できる場所にもなるのであったら良いと思う。(中央区在住 30代 女性)

5. まとめ

今回実施した4つのアンケート調査の結果から得られた主な市民意向等は以下のとおりである。

街頭アンケートでは、相模原駅周辺は、官公庁や銀行、医療機関などが集積しているため、生活するには便利である一方、広域から訪れるような魅力は欠けているという現状の評価であった。

また、郵送アンケートでは、相模原駅周辺のイメージは、「さびれている」、「交通が不便」、「暗い」などのイメージが強く、「鉄道・バスなどの公共交通網の充実」や、「商店街のにぎわいづくり」、「良好な景観形成」、「医療体制・医療サービスの充実」などに力を入れて欲しいという回答が多かった。なお、自由意見においても、交通の利便性向上や、商業施設、スポーツ・レクリエーション施設等を望む意見が多く寄せられた。

今後の相模原駅北口のまちづくりの考え方については、「市民が誇りを持てる特徴あるまちづくり」、「小田急多摩線延伸につながるまちづくり」などが必要であるとの意見が多い一方で、「広域から人を呼び込むよりも市民の利便性を重視したまちづくり」を望む意見も多かったものである。